



会場となった石川県立美術館ホールは立ち見が出たほど人が集り、一方的なスピーチや座談会に終わらず、会場との双方向のやり取りも多く、終始熱いディスカッションが行なわれた

「第一回ラグジュアリーライフスタイル国際会議」を開催 ラグジュアリーの本質を問い、 Real Japan (本物の日本文化)としての 石川に富裕層を

The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会

The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会(朽木浩志代表)は、2月14日、「第一回ラグジュアリーライフスタイル国際会議」ラグジュアリーマーケットが志向する価値観を探る」と題した国際会議を開催した。会場となった石川県立美術館ホールは、250人の観光関係の参加者、マスコミで満員になり、盛り上がりを見せた。

これは、ラグジュアリーホテルの経営者や識者をスピーカーとして招き、ラグジュアリーマーケット集客を念頭に置き、世界におけるラグジュアリーマーケットと呼ばれる市場の認識と、石川に受け入れの土壌を創出することを目的としたイベント。さらに、全国に先駆けてこのラグジュアリー層の観光誘致を率先して行ない、一番のモデルになることも目指した。

スピーチや対談を通して、「ラグジュアリーとは、なにも経済的に豊かであることだけを指すのではない。いろんな意味のラグジュアリーがある」、「多様性を持ち、来られた方のアイデンティティや価値観にあったもの、もてなしができるということが求められる」という発信がなされた。

また本協議会は、外から見た石川の魅力をアピールするために、外国人記者による直接取材に基づいたブックレットを作成し、参加者に配付した。

今後の活動としては、海外富裕層の受け入れに必要な飲食・宿泊・交通の各施設等に求められるガイドライン・人材育成プログラム等の調査研究や、海外富裕層市場に関する啓発のための産業界向け研究会などの事業も実施していくとしている。

なお、本協議会は、内閣府「地方の元気再生事業」平成20年度採択案件として行なわれた。



開催のあいさつをするこの国際会議を主催した「The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会」の朽木浩志代表。「世界の旅行者の3%の富裕層が全体の旅行消費額の20%を占めます。本会議は、その富裕層マーケットを取り込むことを目的としています。そのため、まずそういう方々のことやニーズを知ることが大事です。全国に先駆けて、ここ金沢でその取り組みができたことを画期的なことだと思っています」



谷本正憲石川県知事。「石川県を訪れるインバウンドの数は2003年に5万人だったが、07年には16万人に増えています。2014年には50万人、03年の10倍を目指しています。海外の方は、西洋の物まねではない、本物の日本を知りたがっています。本物の日本とは、つまり「Real Japan」です。そして、石川にはそれがあふれています。経済後退期に入り、どうしても縮こまりがちですが、富裕層マーケットの取り組みは大きな可能性があり、未来への先行投資が大切だと考えています」



観光庁の本保芳明長官が来賓あいさつ。「ラグジュアリーマーケットの獲得は、観光庁の方向性と一致している。現在、日本のブランドを再検証しているが、マーケティング的に伝えやすさ、まずポジショニングは、『プレミアムデスティネーション』、つまりあこがれの地という観光地という打ち出しをする。次に、差別化ですが、これは、『ダイバーシティ』、つまり多様性の豊かな国ということを目指していく。日本にはいろんなサービス、商品があり、その中からチョイスしていただくことができる観光国という意味です。この二つの方向性が決まっています。ラグジュアリーということはあこがれのライフスタイルということであり、歴史、文化、工芸のそろう石川県、金沢から、このような発信がされるということは、非常に意義深いことだと考えます」



二つの対談のコーディネーターを務めた茂木健一郎氏。終始会場に問いかけ、ステージと会場が一体となるように会議全体を盛り上げた



Part1 シックスセンスが考えるラグジュアリーの本質とは
三つめは、シックス・センス・リゾート・アンド・スパの創始者であり会長のソヌ・シヴダサニ(Sonu Shivasani)氏による講演「シックスセンスが考えるラグジュアリーの本質とは」と、茂木氏との対談。シックス・センス・リゾート・アンド・スパは現在、モルディブやタイ、ベトナム、フィジーなどに26のリゾートホテルおよび41のスパを展開している。シヴダサニ氏の理念である「インテリジェント・ラグジュアリー」のコンセプトを詳しく紹介した。「インテリジェント・ラグジュアリーとは、真実、ローカルのもの、本物を味わうということです。具体的には、自分のオーガニック・ガーデンで育てている野菜を朝に摘み、サラダとして提供する。シェフがその日に獲れた魚を自分の目で選んで仕入れる。素足で地面を感じるリゾートライフなどです。シックスセンスは、この考え方に「環境」というコンセプトを加えています」



Part1 The World of Eco Luxury
会議の最初、「The World of Eco Luxury」と題した対談が、エンリコ・デューロット(Enrico Ducrot)氏と茂木健一郎氏で行なわれた。デューロット氏は、持続可能な地域経済、環境維持、高品質のツーリズムを同時に推進する「エコラグジュアリー」を提唱し、本概念に共鳴する企業の参画を募って「LCL World(Luxury Camps & Lodges of the World)」を創設している。全世界に92の提携施設を有し、ラグジュアリーサービスの提供はもろろんのこと、所在地の環境・地域社会との調和、保護区や公園等の管理運営への参画などに取り組んでいる。「こうした取り組みには、注意深い研究と、とにかく時間が必要です。そして一人でやろうとせず、共感してくれる人や企業を巻き込んで一緒に、そして根気よくやっていく姿勢が必要です」と語った

The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会
石川県金沢市駅西新町3-1-10 NEWSビル4F
TEL (076)224-8582 FAX (076)224-6871
代表: 朽木浩志
後援: 石川県、金沢市
協議会: 株式会社浅田屋、株式会社アスリック、株式会社金城樓、山中温泉 かよう亭、株式会社銭屋、大和タクシー株式会社、マゼラン・リゾート・アンド・トラスト株式会社、和倉温泉多田屋

時間	内容
13:00~13:20	開会式 主催者あいさつ: 協議会代表 朽木浩志 石川県知事 谷本正憲 来賓あいさつ: 観光庁長官 本保芳明
13:20~14:30	"The World of Eco Luxury" Enrico Ducrot 対談: 茂木健一郎
14:40~15:30	対談: "食とライフスタイル" Michael Romano, 海豪うるる, 高木慎一郎
15:40~17:00	"シックスセンスが考えるラグジュアリーの本質とは" Sonu Shivasani 対談: 茂木健一郎

二つ目のトピックは「ユニオンスクエアカフェ」の総料理長兼共同経営者であるマイケル・ロマーノ(Michael Romano)氏、「吉兆」京都・嵐山本店の徳岡邦夫氏、金沢の高級料亭「銭屋」の高木慎一郎代表によるパネルディスカッション「食とラグジュアリーライフスタイル」で、料理ジャーナリストの海豪うるる氏がコーディネーターを務めた。三者三様のラグジュアリー定義が興味深かった。「ラグジュアリーとは、ホスピタリティー。お客さまのことを考え、うれしいと思ってもらってもなし」(マイケル・ロマーノ氏)、「ラグジュアリーとは、すべてがそろっていてお客さまに合わせたものでなしができ、それがお客さまに響く結果に結びつくこと」(徳岡邦夫氏)、「ラグジュアリーとは、料理を楽しんでいた2時間だったらその2時間をどれだけ質の高い時間にするかを追求すること。料理人はそのお手伝い、ホストのお手伝いをするのが役割であり、決して自己満足の料理をしてはならない」(高木慎一郎氏)

